**サンプル解答文／１級造園施工管理の経験記述**

**品質管理のサンプル解答文／植栽工**

**⑤ 工事概要**

　○○市ふれあい公園整備工事で、基盤整備工事として整地工（1,200ｍ2）、

盛土工（200ｍ3）、植栽基盤工事として透水層工（50ｍ）、石積工（70ｍ）、

植栽工事として植栽工（高木25本、低木100本)、張芝工（150m2）であった。

**(4) 管理項目の課題の内容**

　全体工事の工程から割り出した植栽工事の施工時期が気温の高い悪条件となる夏期が避けられない状況だったため、樹木の枯死を防ぐことや各樹木ごとの状況を把握して適切な対策をいかにして施すかが課題であった。

　現場においては植え付け作業の遅れによる樹木の枯死を防ぐために、植え付け時間の短縮と迅速化及び樹木搬入の時間管理の徹底を行う必要があった。

また植え付け後の樹木の状況把握と灌水作業の確実な実施の管理も課題であった。

**(5) 現場で実施した処置又は対策**

　植栽工事期間が盛夏期に当たっていたため、枯死を防ぐために以下の対策を講じた。

　水枯れ防止対策として枝の切り詰めや蒸散量を抑制するため、1/3～1/2程度の枝葉の剪定を行ない、また監理者と樹木の状況を個々に確認して協議した上、必要に応じては蒸散防止剤やホルモン剤、発根促進剤などを施した。

　現場においては樹木を当日中に植え付けるために、早朝の搬入を協力会社に要請し、諸事情で搬入が遅くなりそうなときは翌日早朝の現場搬入に変更し、気温が高くなることが予想される日には植栽搬入及び工事を避けることを判断し、別途搬入・工事実施の日程を決定した。

　また植え付け後の植栽への灌水作業実施の有無の確認を徹底するため、各樹木ごとに作業報告書を作成して管理した。

**工程管理のサンプル解答文／植栽工**

**⑤ 工事概要**

　台風災害にあった市街地の街路樹の倒木復旧緊急工事において、市内主要幹線道路の交通回復と植栽の速やかな撤去・植え替え工事が市より発注された。受注業者は、弊社を含め市内の建設業者４社であり、共同作業することとなった。

**(4) 管理項目の課題の内容**

　台風一過の後、幹線道路には倒壊した樹木の他、建築物から剥がれた屋根材や壁材、看板類なども飛散しており、交通回復を行うことが最重要課題であった。

倒木の処理と樹木の復旧計画工程を監理者・同業他社と協議し、７日間以内の撤去、一カ月以内の現状復旧を目指した。

近隣の他市についても同様の被災状況であったため、施工人員の確保・機器の確保が困難であった。また、工事をスムーズに行うための監督員立会や現状調査時間を、どのように短縮するかも重要な課題であった。

**(5) 現場で実施した処置又は対策**

①倒木処理とその他の産業廃棄物処理方法を監理者、及び同業他社と打ち合わせの場を設け、作業分担による効率の良い工程計画を策定した。

②立会・現調時間短縮については、現状調査時間を短縮するため、施工範囲の立会時にビデオ撮影を行い、立会後すぐに撤去作業を開始できるようにした。

③樹木撤去時に手動で伐採するのではなく、大型の切断機械を導入し、伐採時間の短縮を図った。運搬にはロールアップ車を利用することとした。

④樹木で途中から折れているものについては速やかに撤去することとし、幹折れがないものは冬季剪定と同程度の仕上げとした。根が露出しているものについては撤去・植樹の手順では時間が掛かるため、根周囲を掘り起こし土中に収まるようにして支柱受けすることで工程短縮することとした。

上記の対策により、撤去作業７日間、現状回復を１ヶ月で完工することができた。